

審判上の確認事項

審判委員長

- 1 本大会は2023年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「6人制ルールの取り扱い」についてを適用する。
※各セット13点で、給水のためのタイムアウトとして30秒間の中断を設け、給水を行う。
- 2 タイム・アウトの要求は、監督が該当するハンド・シグナルを示し要求しなければならない。
また、大会本部が認めた特別な理由で監督不在の場合は、ゲームキャプテンのみタイムアウトの要求ができる。
なお、監督はラリー中、チーム・ベンチの記録席に最も近い位置に座る。
(但し、準決勝・決勝のみ、監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長戦からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、ラリー中であっても立ち歩きながら指示することができる。)
- 3 選手交代は、選手交代ゾーンにプレーする準備のできた交代選手が入り、セカンドレフェリーのホイッスルにより許可される。(2組以上の選手交代を同時にしようとするときは、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。)
- 4 リベロ・プレーヤーについて
 - ①リベロプレーヤーは、チーム・キャプテンにも、ゲーム・キャプテンにもなることができる。
 - ②リベロプレーヤーが、サービス許可の吹笛後に交代することは拒否されないが、ラリー終了後、口頭で注意される。同一試合中に繰り返した場合は、遅延の制裁の対象となる。
 - ③リベロプレーヤーがジャケットを着用する場合は、公式練習終了後、整列の際に着用する。
- 5 選手・スタッフの不法な行為について
(警告：口頭・イエローカード / ペナルティ：レッドカード / 退場 / 失格)
 - ①ファーストレフェリーが最終判定を出した後も、審判員に不満を示す態度や言葉を発した場合。
 - ②監督が、セカンドレフェリーやスコアラーに説明を求めたり、長引かせるような話しかけをした場合。
 - ③無作法な行為：よいマナーや道徳の原則に反した行為。
 - ④侮辱的な行為：中傷的、または侮辱するような言葉やジェスチャー、軽蔑を表す行為。
 - ⑤攻撃的な行為：身体的攻撃、または攻撃的・威嚇的な行為。
 - ⑥あらゆる暴言・体罰に該当する行為。

※審判団や相手チームに対してのみではなく、自チーム内での上記行為も罰則の対象となる。

※ファーストレフェリーの判定に対する質問は、ゲームキャプテンのみ受け入れられる。

その内容については、ルールの取り扱い等に関する質問のみとする。抗議や意見を述べたり、クレームについては拒否し、場合によっては警告または罰則を適用する。

6 コート・ワイピングについて

- ①ゲーム中は、コート内の6人がワイピングタオルを持ち、拭くことを原則とする。
(チームでタオル等の準備しておく)
- ②タイム・アウト、各セット間は、各チームでモップをかけてよい。
但し、給水のためのタイムアウト時は、給水を終了した選手がモップをかけること。
- ③ゲーム中については、審判の判断でモップを入れること。
(チームや選手・スタッフの判断で、モップは入れない。)

7 チームのハドル(円陣)について

セット開始前のチームのハドル(円陣)は、ポジションの確認前でも後でも認める。
但し、最大7名とする。